

波動ケア・ホメオパシーメソッド 第1回目

★ バイタルフォース★

バイタルフォース、英語で書くと Vital Force となります。
直訳すれば vital=生命の、 Force=効力です。

概念として一番近いのは「自然治癒力」ではないかと思います。

自然治癒力、つまり本来人間が持っている自分自身の病気を治す力、または病気と闘う力のことで

古代、医学がこんなに発達する前、民間療法として信じられ実際に行われていた自然療法は、この、自然治癒力を助ける働きをしていました。

いつしか高度な医学と文明の発達に伴い、新薬や検査、手術に頼るようになり、この本来、人間が持っている力を置き去りにしてしまったのが現代の状況です。
医学の発達それ自体はもちろん喜ばしいことですが、治す側も治される側も人間だということを忘れない前提のもとの話です。

すべての生きるものの細胞の一つ一つにエネルギーがあります。このエネルギーは血液や酸素と同じように人間の身体を循環しています。
血液や酸素の循環が悪くなるといわゆる病気の状態となりますが、それはエネルギーの流れが悪くなっていることも同時に意味しています。

エネルギーが流れている、または流れていない状態をこの目で見ることは出来ませんが、それが様々な症状となって現れます。

東洋医学で言う、「気の流れ」とほぼ同じものです。

「なんとなく今日は調子が悪いなあ。」と思う時があるものです。
その身体から発する声を無視しているといつか大きなツケとなって自分に戻って来ます。調子の悪いときはエネルギーの流れが滞っていることを身体が私たちに知らせようと働いているのです。

そういう時、自然治癒力は下がります。免疫力も低下します。

つまりもっと目に見えやすい形となって身体に現れます。これがさまざまな病気の症状です。その下がった力をレメディーを摂ることで刺激を与え活性化させるのがホメオパシーの役割です。

★急性と慢性★

➤ 急性の状態とは

突然症状が現れる

期間が短い

激しい

積極的な治療

➤ 慢性の状態とは

ゆっくりと発症(突然の場合もある)

期間が長い

激しい

長い治療期間

➤ 急性の場合の処方仕方

穏やかな急性の場合

ポーション: 30C (例: 普通の風邪) 手持ちであれば、12C も可能

二日目に症状の見直しをし、劇的に悪くなっていれば、やり直し。劇的に良くなっていればレメディーを中止。

頻度: 毎時間～3 時間ごと

激しい急性の場合

感情的・精神的症状を伴う

ポーション: 30C

頻度: 10～15分ごと